

# CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版\_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	沼津市立大岡中学校校舎建築主体	階数	地上4階 地下0階
建設地	静岡県沼津市	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、法第22条区域	平均居住人員	420 人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年6月 予定	評価の実施日	2024年8月8日
敷地面積	2,001 m <sup>2</sup>	作成者	大橋 康孝
建築面積	1,262 m <sup>2</sup>	確認日	2024年8月9日
延床面積	3,900 m <sup>2</sup>	確認者	大橋 康孝

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 87%  
③上記+②以外の 87%  
④上記+ 87%

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

3(保健) 2.2  
4(教育) 1.4  
5(ジェンダー) 2.0  
6(水・衛生) 1.8  
7(エネルギー) 1.9  
8(経済・雇用) 1.8  
9(イノベーション) 1.5  
11(都市) 1.6  
12(生産・消費) 2.0  
13(気候変動) 1.9  
15(陸上資源) 1.0  
17(実施手段) 2.1

\* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境 3.0 温熱環境 3.0 光・視環境 3.3 空気質環境 3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性 3.0 耐用性 3.1 対応性 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境 1.0 まちなみ 3.0 地域性・ 2.0

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 2.9

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

建物外皮の 5.0 自然エネ 2.0 設備システ 2.6 効率的 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源 3.0 非再生材料の使用削減 2.6 汚染物質回避 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化 3.5 地域環境 2.3 周辺環境 3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
空気質環境に配慮した計画としている。	0
<b>Q1 室内環境</b> 昼光を取り入れやすい計画としている。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 周辺のまちなみに調和した計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI=0.65	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> を100%未満としている。
<b>Q2 サービス性能</b> 階高のゆとりのある計画としている。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 下地にLGSを使用している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される